

# 看護部

---

## NICU（新生児集中管理室）

NICUが開設して、1年半が経ちました。

今年度は院外で生まれた赤ちゃんの受け入れが出来るよう、人工呼吸器管理について勉強会を実施することから始めました。その結果、気管内挿管の管理は2例と少なかったものの、鼻からの持続陽圧呼吸を行うNasal-CPAPを18例経験しました。以前は、呼吸状態が悪くても酸素投与しか方法がなく、赤ちゃんの回復力に期待するしかなかったのですが、Nasal-CPAPという方法を用いることで呼吸障害の回復が以前よりかなり速くなり、児にとって負担が少ない治療方法であることを実感しました。

受け入れ在胎週数を34週から32週へ拡大し、近隣の助産院やクリニックから新生児搬送の受け入れを行いました。切迫早産や妊娠高血圧症候群の妊婦さんが当院産科に紹介され、出産後にNICU入院となる例もありました。

入院が長期化する赤ちゃんには継続受持ちの担当看護師を決め、看護の継続性を図るとともに退院指導の充実を目指しました。ファミリーノートを作成し、赤ちゃんの写真や体重・ミルク量などを看護師が毎日書き、赤ちゃんの成長と一緒に喜び、ご家族と赤ちゃんの絆が強くなるようなメッセージを工夫しました。

初めて経験する処置も多く、必要物品や処置介助、その後の管理については経験豊富な小児科医師にひとつひとつ教わる毎日です。根気良く教えて下さる先生方に感謝しています。